

南魚監第 46 号  
平成30年7月25日

南 魚 沼 市 長 林 茂 男 様  
南 魚 沼 市 議 会 議 長 小 澤 実 様  
南 魚 沼 市 教 育 長 南 雲 権 治 様

南魚沼市監査委員 小林 勝巳  
南魚沼市監査委員 牧野 晶

定期監査及び行政監査の結果に関する報告について（その2）（提出）

地方自治法第199条第2項及び第4項の規定に基づき、定期監査及び行政監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を下記のとおり報告します。

記

1 監査の対象

平成29年度における財務事務の執行状況及び学校の管理・運営状況全般

2 監査の実施期間及び対象箇所

平成30年6月6日から平成30年6月28日まで

実 施 日	監 査 対 象
平成30年 6月 6日	上関小学校 第一上田小学校 第二上田小学校
6月26日	塩沢小学校 石打小学校
6月27日	塩沢中学校
6月28日	六日町中学校 中之島小学校 栃窪小学校

3 監査の方法

各学校に赴き、あらかじめ提出を求めた監査資料に基づき、学校長等から説明を受け、その後質疑応答を行い、校内巡回し施設の管理状況を確認するとともに、関係諸帳簿及び書類の抽出による調査等の方法により実施した。

4 監査の主眼

今回は、以下の点を主眼に監査を実施した。

- (1) 予算の執行は計画的、効率的に行われているか。
- (2) 学校管理は適正に行われているか。
- (3) 学校運営は適正に行われているか。

5 監査の結果

予算の執行及び事務処理等はおおむね適正に行われており、施設等の管理についてもおおむね適切に実施されているものと認められた。

監査委員としての所感は以下のとおりである。

### (1) 学校の運営状況

- ・いずれの学校でも、教育目標、重点目標を設定し、「知」「徳」「体」のそれぞれに目指す具体的な児童、生徒の姿を示し、その実現に向けて取組みがなされていた。学ぶ楽しさや分かる楽しさを感じ学習意欲を高めることを目的として、授業改善の推進や個のニーズに応じたきめ細やかな指導教育に取り組んでいた。
- ・栃窪小学校は、へき地の小規模校であり特認校でもある。小規模校のよさを生かし個性を大切に、個々を伸ばす教育を行っている。学校や地域の人たちとの深い繋がりをもつことで、子ども達は豊かな経験を得ることができている。卒業後は中学校という大きな集団に入らなければならない。大きな集団に入った時のギャップが心配である。十分な教育配慮を行うことを望むものである。

### (2) 安全管理

- ・いずれの学校も施設面での問題は少なからず抱えているが、子ども達への安全面に配慮しながら対応していた。
- ・自校給食校の調理施設面での問題は特になかった。調理員が緊急に欠員となった場合、給食がストップしないように補助員の対応ができる体制が整っていた。安全な環境で、安心でおいしい給食の提供を望むものである。
- ・理科室の毒物及び劇物の保管状況について確認を行った。いずれの学校も適正に管理されていた。保管されている薬品で不用となっている薬品については、今後教育委員会の指導により適正に処分していただきたい。

### (3) その他

- ・子ども達を取り巻く環境には想定できない災害や事故がある。学校内は勿論のこと、通学路の安全確認も日々気を配っていただきたい。また、学校だけでなく保護者や地域全体で見守る体制づくりと、子ども達自身の防災意識をより高めていく指導を望むものである。
- ・学校預り金の未納については、家庭の状況把握や個別の納入相談、督促など早期に対応するようにして、年度末までに完納となるよう努めていただきたい。過年度分の未納金については、教育委員会と連携して早急に対処し疑義が生じることのないようにしていただきたい。